

# 市民アンケート調査結果報告（概要版）

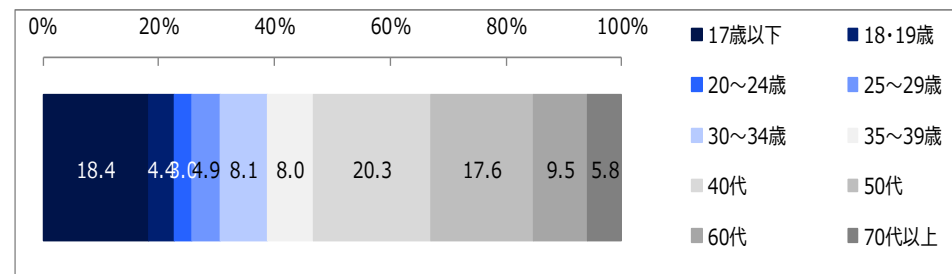
## ■ 市民アンケート調査結果報告（概要版）

実施期間：令和5年1月5日～2月3日

回答総数：1,797件

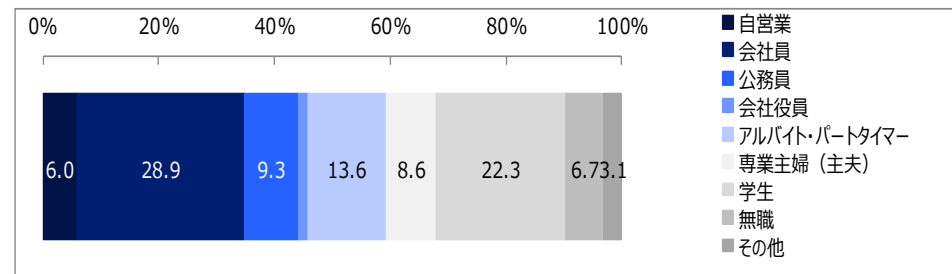
○年齢

	n	%
全体	1797	100.0
17歳以下	330	18.4
18・19歳	79	4.4
20～24歳	54	3.0
25～29歳	88	4.9
30～34歳	146	8.1
35～39歳	143	8.0
40代	365	20.3
50代	316	17.6
60代	171	9.5
70代以上	105	5.8



○職業

	n	%
全体	1797	100.0
自営業	107	6.0
会社員	519	28.9
公務員	167	9.3
会社役員	29	1.6
アルバイト・パートタイマー	244	13.6
専業主婦（主夫）	155	8.6
学生	401	22.3
無職	120	6.7
その他	55	3.1



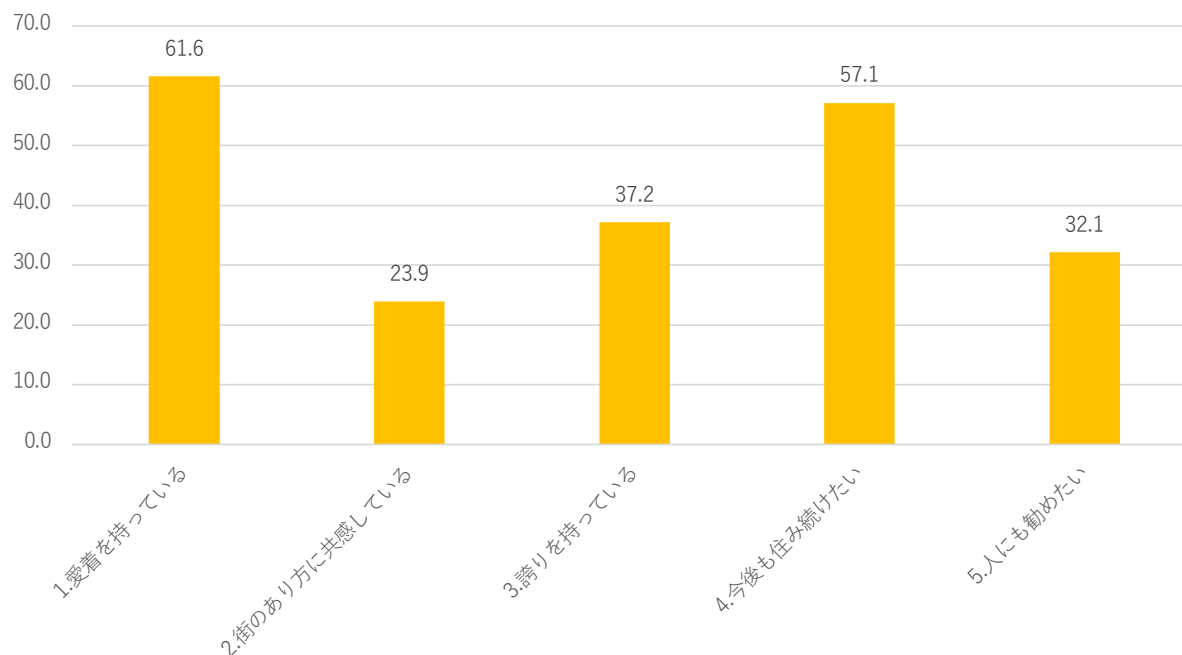
## ■ 市民アンケート調査結果報告（概要版）

全年代の合算データから  
シビックプライドを構成する5要素の傾向や数値を比較する

■ TOP3合算データ

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. 非常にあてはまる | 4. どちらともいえない  |
| 2. あてはまる    | 5. あまりあてはまらない |
| 3. ややあてはまる  | 6. あてはまらない    |
|             | 7. 全くあてはまらない  |

Q1.「古河」についてお伺いします。以下のそれぞれの項目は、どの程度あてはまりますか。



<分析>

特に数値が高いのは「愛着」「継続居住意向」で5割を超えた。このことから、現状の暮らしぶりや故郷としての満足度が高く、自分の生活スタイルの維持を望んでいることがうかがえる。

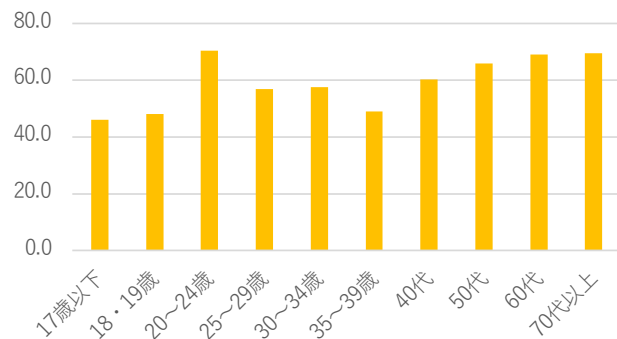
一方で「共感」「誇り」「他者推奨意向」で数値が低くなっており、古河市の文化への理解や市政への納得感はありつつも、自分にピッタリであるという自信が持てていない可能性も示唆される。

特に最も数値の低かった共感性については、**周囲からプラス評価されることがスコアアップの観点から重要**と考えられる。

## ■ 市民アンケート調査結果報告（概要版）

### 年代別のデータから シビックプライドを構成する5要素についてそれぞれ分析

①愛着

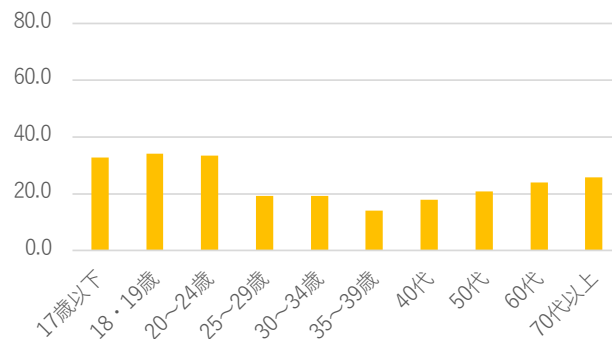


#### <分析>

20代前半や40代以上で6割超え、ほかの世代も5割に達しており市への愛着の高さがうかがえた。

10代でやや数値が低いことから、自立や将来のことを考えたときに市内に選択肢が少なく、自然と市を離れる選択肢が頭にあるのではないかと推察。

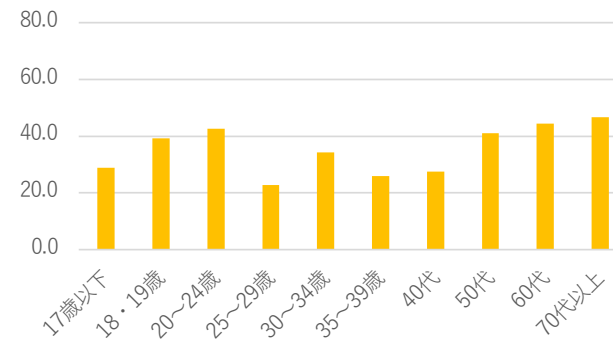
②共感



#### <分析>

10代~20代前半で特に数値が高く、進学や就職で市外に転出した後も、継続して市とのつながりを持てればUターンを前向きに検討してくれる素地はあるか。一方で30代以上で数値が低く、子育て世代やシニアを対象とした施策への理解や納得感が薄く、共感を得られていない可能性も考えられる。

③誇り



#### <分析>

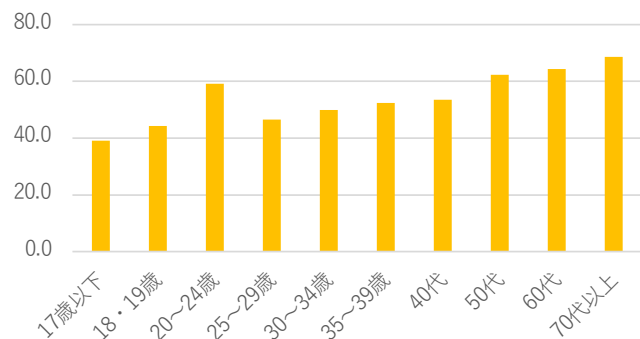
50代以上から数値が高まり、市に長く住み続けることも誇りの醸成に寄与していると考えられる。

20代後半~40代以上で数値が低い一因として、ほかの自治体に居住する友人や親戚との比較も考えられる。一方で周囲からの共感は誇りの醸成につながることに注目していきたい。

## ■ 市民アンケート調査結果報告（概要版）

### 年代別のデータから シビックプライドを構成する5要素についてそれぞれ分析

④ 継続居住意向

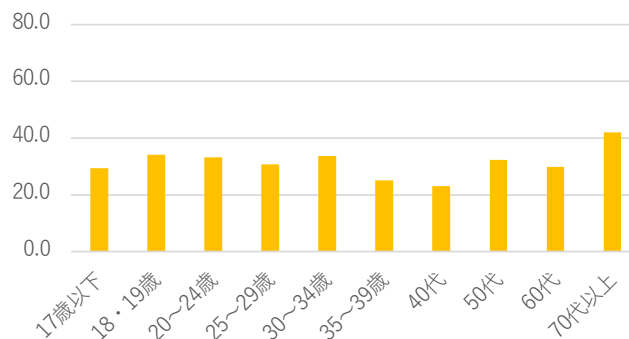


#### <分析>

20代前半5割以上の継続居住意向がみられていた。このポテンシャルの高さを移住・定住施策に生かしていきたい。

10代では意向が低く4割に満たない。古河の身近な大人の暮らしぶりを生き生きと発信することで、このスコアの向上を図る必要がある。

⑤ 他者推奨意向



#### <分析>

70代で4割を超えるが総じてスコアが低い。特に30代後半～40代以上の子育て世代の低スコアは課題で、何が足りないのかだけでなく、そのニーズがこういったマインドから生まれているのか深掘しボトルネックを解消する必要がある。

#### <まとめ>

シビックプライド指標で「愛着」は高いものの、「共感」「誇り」が低い傾向に。「愛着」があるため「継続居住意向」も高い。ただし、「共感」「誇り」が低いため「他者推奨意向」が低くなってしまっている。

内向的なシビックプライドは高いと考えられるので、次のステップとしては共感・誇りを高め、自分たちのまちを外に発信していけるような外向的なシビックプライドを形成して行く必要がある。